



2016年
ボウリングマガジン3月号

DHCカップPBAインビテーション
大会模様の特集記事が掲載されました。

DHCカップ PBAジャパン インビテーションショナル 2016
 1月15日-17日 東京・東京スポーツホール



偉大なる復活

アムレット・モナチェリに11年ぶりメジャータイトル

PBA公式戦、DHCカップPBAジャパンインビテーションショナル2016は、今年も聖地・東京スポーツホールでおこなわれ、2度のジャパンカップ優勝を誇るアムレット・モナチェリ（イタリア）が2代目王者に輝いた。32名の代表選手によるラウンドロビンで2位で勝ち抜いたモナチェリは、セミファイナルで初代王者のランス・バーンスを下す。優勝決定戦ではトップシードのトム・パレット（イングランド）を25-100で破り、11年ぶり通算20勝目となるPBAレギュラータイトルを獲得した。文：正田真太郎 写真：菅原啓祐



00 29年前に初勝利をあげた舞台で、通算20勝目の金手袋を打ち立てたアムレット・モナチェリ。20勝目を日本で達成できたのは嬉しい。600万円の使い道は7プレーヤーがピンポイントで決まった。15日15時開演から16日15時閉演まで、そこで使う予定と決まっている。



1年に渡るPBAジャパンインビテーションショナルの総決算、DHCカップPBAジャパンインビテーションショナル。昨年に引き続き、世界最強のPBA軍団が東京スポーツホールに結集した。過去優勝した日本は、PBAジャパンシリーズ2015の成績上位者が4名、各ホウライ団体の推薦から各1名、そして最大の目玉として、11年ぶりの初優勝を達成し、PBAの2016年開幕戦にふさわしい豪華キャストでおこなわれた。



昨年と同様、本戦は22名による総当たりラウンドロビン（RR）を戦い、上位5名がTV決勝ステッパードに進出する。激戦を戦い抜き、2代目王者に君臨したのは、この1回ジャパン



カップ方式を熟知するベネズエラの国民的英雄、アムレット・モナチェリだった。3年前から参加しているシニアツアーでは5勝を挙げたが、レギュラーは11年ぶりに優勝できなかった。でも、今回は彼の初勝利の舞台。東京スポーツホールから、も

好ゲームが続出。会場には昨年以上のキヤラリが観戦に訪れ、世界的レベルのテクニックに酔いしれた。モナチェリは試合前から緊張を溜り出して見せた。2日目には14勝2敗と大きく勝ち星を伸ばし、RRを2位で通過した。トップは強アベをマークし、2位のモナチェリに24アポイント差をつけた。イングランドのトム・パレット、以下、3位に巨体から繰り出すスウェーデンのランス・バーンス、スウェーデンのランス・バーンス、4位のティフ・テイレン、チャンピオンズのクリス・バーンスと、PBAが上位を独占した。優勝ポジションマッチでもつれづれ最後の1戦には、25勝7敗と最多勝をマークした川添大が、日本人初のファイナリストとなった。



00 29年前に初勝利をあげた舞台で、通算20勝目の金手袋を打ち立てたアムレット・モナチェリ。20勝目を日本で達成できたのは嬉しい。600万円の使い道は7プレーヤーがピンポイントで決まった。15日15時開演から16日15時閉演まで、そこで使う予定と決まっている。



00 4日10時入場券は、会場に到着した時点で完売。観戦者も、この大会の盛り上がりを見守る中、川添はPBAタイトル獲得の期を背負い、世界ナンバーワンの実力者、バーンスに立ち向かった。しかし、緊張からか2つのミスが響き、27-22とわずかな差で敗れ、第5位でフィニッシュとなった。



00 4日10時入場券は、会場に到着した時点で完売。観戦者も、この大会の盛り上がりを見守る中、川添はPBAタイトル獲得の期を背負い、世界ナンバーワンの実力者、バーンスに立ち向かった。しかし、緊張からか2つのミスが響き、27-22とわずかな差で敗れ、第5位でフィニッシュとなった。



00 川添は日本人選手として大会初のTVファイナル進出を果たしたが、バーンスの力強い投球に敗れた。毎週練習している。練習ボールは全て海外に投げられた。PBA日本選手も彼を見ています。彼は、自分のゲームを確立させたのが最大の要因です。彼は、自分のゲームを確立させたのが最大の要因です。彼は、自分のゲームを確立させたのが最大の要因です。

① ドム・パレット	232	優勝
② アムレット・モナチェリ	215	2位
③ ショーン・スミス	202	3位
④ クリス・バーンス	202	4位
⑤ 川添 大	200	5位



「元祖・クランカー」アムレット・モナチェリ



1980年代、アムレット・モナチェリが我が国に与えた衝撃は今も語り継がれている。ボールも、技術も進化を遂げていない時代に、ダイナミックなバックスイングから繰り出す高回転ボールは多くの日本人の心を掴んだ。A級選手、アメリカ人以外では初のPBA級選手入りも果たしている54歳は、今も

「自分の子どものような年齢の選手から賞状をいただくのは嬉しい。でも、自分のゲームを確立させたのが最大の要因です。彼は、自分のゲームを確立させたのが最大の要因です。彼は、自分のゲームを確立させたのが最大の要因です。」

「元祖・クランカー」として知られるアムレット・モナチェリは、11年ぶりにメジャータイトルを獲得した。彼は、自分のゲームを確立させたのが最大の要因です。彼は、自分のゲームを確立させたのが最大の要因です。彼は、自分のゲームを確立させたのが最大の要因です。」

●ボウリング・レボリューション
<http://bowlingrevolutions.co/>